

第19回伊豆下田元気塾アンケート結果（100名回答）

Q1 参加してどうでしたか？

（基調講演）

大変良かった	76名（ 80.0%）	
まあまあ良かった	18名（ 18.9%）	
普通	1名（ 1.1%）	※他無記載5名

Q2 松浦城太郎氏、深澤準弥氏の話で、あなたが一番印象に残った事は？

- ・人口減少の今だからこそその町づくりは大変だと思います。
とても偉い事をしていると感心しました。
- ・松崎に移住し25年以上経ちます。素晴らしい環境の中での暮らしをさせて頂いてます。自然いっぱいです。
本日のお話で「若い方が働く場がない」と私も聞いた事があります。本当ですね。気付きが少ないのかも？呑気に暮らしている自分を反省しました。
少しでも、私でも力に（協力）なることがあるかもしれないと考えさせられました。しっかり見つめていきたいと思います。
若い町長さんの努力している姿にうれしく思いました。
- ・官民協働のイメージのもと、ふるさと納税の取り組みから、森と海の6次産業事業化プロジェクトまで、8年の取り組みをお聞かせいただき、大変参考になりました。感銘を受けました。さらなるご活躍を期待いたします。
- ・松浦氏のお話、大変良かったです。
- ・フワフワした公務員、共に創る（共創）社会。
- ・コロナの時代において、これまでのキャリアが通用しなくなる事もあるので、視野を広げて色んなことを学ぶ。
学んだ知識と考えをもとに行動する（時にはルールを変える必要がある）
- ・西伊豆町…田子寿司を復活させましょう。もっとアピールしていきましょう。
釣りの魅力は船だけではない、磯からも魚を買って欲しい。
松崎町…手つかずの所だらけで、十分に魅力があります。やりがいしかないですね。ふるさと納税の良いアイデア、たくさんあります。もっと、民に聞いて下さい。町長が変わりましたので、活気ある町にしていきましょう！深澤町長に協力して頂ける方は多いと思います。
- ・松浦氏は良くやっている。町長にしたら良い。
与えられた仕事をするのみでなく、仕事を創る素晴らしさ…。

- ・お二人の話しで感心したのは、民間との共助を大切にする…という事でした。
「一人では何もできない」という言葉も心に大きく響きました。
- ・どの取り組みも素晴らしいです。
はんばた市場は、最初の頃から利用していますが、もう少し SNS を積極的に利用したら、もっと素晴らしくなると思います。活魚を LINE 等で決まった時間に、どんな魚が入っている等の広報、実際に購入も出来る仕組み等、下田から出かけて、思った鮮魚が手に入らず、がっかりした事があります。
- ・官民による地域課題の発見と官民のマッチング、課題解決に向けた実務で官民を融合させる。地域課題解決とビジネス化を同時に行う。
人財（材）育成が大切である。
- ・官民双方の人材育成が必要。地域の課題を官と民で見つけて、解決に向けて取り組み事が重要。主役＝人。
- ・釣った魚をサンセットコインで買い取る…素晴らしいアイデア。
下田市あたりでも考えてみたらと思う。
- ・行政、民間、住民の一体感を高める必要性を本当に感じた。
- ・サンセットコインの導入、ツッテ西伊豆の取り組みが印象に残った。
- ・東伊豆町に移住したばかりなので、ここまで地方自治体、住民が活性化に力を入れている、入れようとしているとは知らなかった。
- ・松浦氏…仕事をする時、現場を大切にすること、周りを巻き込みプロジェクトチームをつくる。補助金の活用を考える。すべて、私が役場職員に望む事です。若いのに、すべて実践していて素晴らしい。
深澤氏…就任間もない事もあるうか、話は分かりやすかったが具体性に乏しい。住民と共に何をやっていくのか…今後に期待。
- ・松浦氏…発想力が豊かであり、アイデアを行動に移す実行力もある。
行動力の源は、地域を思う気持ちが強いからであると思います。
上司の理解も非常に重要で、職場全体で地域を盛り上げる風土があると感じました。
深澤氏…「人財育成」…都会に出て働いて稼ぐ、暮らす事が本当に最善の選択なのか？教育によって考え方を变える事が出来れば、地元に残る若者も増えるのではないかと思います。
- ・松浦さんの兼業。これからは兼業するのは大事だと思います。
- ・松浦氏の情熱溢れる成功体験は、未来を感じる素敵な話でした。下田市の役場からも熱意ある人が育ってほしい。配布された冊子中の、まどが浜再開発問題は、早期に市県で考え開発してほしい。
松崎町の話は下田の課題と同じ。深澤氏の手腕に期待。
- ・役場の仕事の成功とは？数としてはつきりできるものではない。どこを成功

として位置づけるのか → 住民が幸せを感じる世の中。

- ・ 2人に共通するスキルはチャレンジする行動力であると感じた。
リーダー、プレーヤーそれぞれにミッションがあるところを踏まえて、地域を愛しつつ、課題解決に向けた企画力にも感心しました。
- ・ 両氏ともに話されていた事です、地方自治体は多くの課題を抱えており、その解決には、民間の力が必要である。
- ・ 松浦氏…一人では出来ないが、仲間を増やせば出来る。
深澤氏…地域資源の価値が理解されない。都市から来た者の方が、魅力が言える。
- ・ 着眼点が良いと感じた。地域の課題を考えている事やプロジェクトチームの立ち上げなど行動力、統率力があると思いました。地産地消にて地域の活性化に尽力されていると感じました。
- ・ 松浦氏…プロジェクトチームでの成功体験により、チャレンジングな姿勢が認められ、組織が良い方向に向かって行く様は、民間の会社での成功パターンである。官である役場で、そのような体験ができる事は大変貴重で有意義な事だと思うので、もっと多くの役人に経験をして欲しい。

深澤氏…「働くところがない」のではなく「魅力ある職業がない」はその通りだと思う。それを理解した町長が進める松崎の未来が楽しみである。

- ・ 松浦さんの着眼点の良さと行動力の素晴らしさが、どの町にも広がっていった、伊豆全体が生き生きと活性化していったら良いと思いました。
特に、マイナンバーカードのマイナポイントのことから地域通貨へと結びつけたアイデアとスピードがとても印象に残りました。今はスマホなどの電子通貨へと結びつきがちだけれど、お年寄りや子供も使えるカードにしたところが凄く良かったと思いました。
釣り船やシーカヤックなどのスポーツ、伊豆に住んでいる人たちが知らないものや未体験のものが、いくつもあって、住民もそれを体験し、知る事も必要だと感じました。松崎町長の人財育成はとても大切だと思った。
- ・ 周りを巻き込む力が大事。松崎町は職員が少ないので、再任用、嘱託員など活用することが必要かと思います。
- ・ 官民協働のためには、官民、同じ課題を発見すること。
高め合う仕組み作り、人が大事であること。
- ・ 松浦さんの発想から、立ち上げ、実行、稼働がとてもスピーディ。
松浦さんに賛同してくれる仲間がいる。人と人との繋がりが実を結ぶ。
松浦さんは良く気付く人だと思います。同じものを見ても気付く人と気付かない人がいます。気付く人は足元に転がっているチャンスも見える。
- ・ 世の中が変わっている事は実感であるが、みんなで共創することにより、

新しい発見がたくさんあると思われます。

- ・平成の大合併しなかった、出来なかったの言葉に重みを感じた。
- ・地域や田舎に合った観光資源の磨き方、展開の広げ方。
人口が少ないからこそ出来る団結。
- ・松浦氏…実行力、発想力、人間関係構築力、コミュニケーション力、着想から
具体策、コーディネート、経営が一体となった人間力を感じました。
深澤氏…ふるさとを愛する者が町長になることが第一です。
今後の政策、そして実行力に期待します。
- ・松浦氏…成功体験の積み重ねによる仲間作り、チャレンジする気持ちと後押し
する側のトップ、そして、町が持っているポテンシャルの活用。
深澤氏…共に創る社会と言える、今までの地域との関わりのあり方。
広く平等に均一にサービスから、頑張る企業を支援するへ。
- ・松浦氏…個人だけではなく、チーム、組織で動く事の重要性。
深澤氏…全体最適思考。
- ・新しい企画を実現していくスーパー公務員をもっている西伊豆町が羨ましい
- ・松浦さんのふるさと納税の取り組みをととても分かりやすく聞くことができ、
勉強になりました。「人」が高め合う人作り、とても良い言葉です。
- ・地域課題の発見、官民協働で取り組むことが重要。官の得意分野、民の得意分
野の融合。人材（財）育成。
- ・官民協働作業で成功に導いたスーパー公務員の松浦さん、目標を持ちアイデア
を生かし、民を巻き込み、何より自分が一番楽しんでいるような気がしました。
素晴らしかった。松崎町長さんが夢を実現できるよう、協力、参加していきた
いと思いました。
- ・お二人とも、失敗を恐れずにすぐに行動、挑戦されている事で様々な成果を
得ていた。たくさんの人を力を借りながら活動する。
- ・西伊豆のふるさと納税はすごい！これからが楽しみ、頑張ってください！
小さな町、歩いて廻れる町、松崎大好きです！
- ・発想、挑戦、連携プレーの大切さ、官民の協力、楽しく働く事の先に光ある。
- ・松浦氏…松浦氏が考える官民協働の話しに、それぞれの強みを融合して地域を
発展させる話が印象に残りました。
深澤氏…「人材（財）育成」に力を入れる事が大事…が、印象に残りました
- ・西伊豆町（攻め）と松崎町（守り）においての講演内容は、立場や年齢等で異
なっていたが、最終的な方向性は「一緒」だと感じた！
- ・松浦氏の話聞いて「とにかく、みんなでやってみる」という事が大切では
ないかと考えました。（失敗しても）
- ・松浦氏…釣り客を観光に…。一人ではなくチームの楽しみ。

深澤氏…地域資源の理解、学びと行動。

- ・強力なリーダーの必要性、各自治体の職員研修にしたい内容の話しだった。
- ・松浦さんの話しでは、成功体験の重要さ、新しい分野への挑戦についてが印象に残りました。深澤さんの話しでは、主役は人であること、共に動いていくこと、共創社会についての思いが印象的でした。町の為、町長選挙に出馬を決意してくれたことは、心から感謝しています。
- ・松浦氏の「ルーティンの仕事を疑う」＝自分で考えるに共感しました。松浦氏が「スーパー」と呼ばれる事に納得しました。他の町にも次々と同様の活躍をされる人が現れる事を期待します！
- ・あるドラマの中で、新しく役場に赴任してきた若者が、「住民の役に立つ人だから役人というのです」と言って、役場の中では、来た町民に次々と声をかけて、若者、お年寄りと一緒に町活性化つなげる場面がありました。その青年と松浦さんが重なって、発想力、柔軟な思考、人柄に感動しました。そして、それを認めた町長始め役場の雰囲気学びたいと感じました。
- ・堅苦しい行政職員が地域のために汗をかいて貢献しているなと感じました。町づくりはリーダーの気質が大事。
- ・やはり、町民が色々と夢を抱いて、町を良くしていく事が大切と思いました。花畑の場所で、以前にコンビニがあった所を活用しては…。犬連れの観光客が多く来ているので、お店を開いて、地場産品を売ったり、ドックランなども作って犬に関する商品売ったりしては…。
- ・松浦さん、ふるさと納税の事業実績は見事である。アイデア一杯の面白い話を聞かせて頂き感激。サンセットコインも素晴らしい。
- ・地域愛を軸に進めている町運営に感動しました！
- ・官民協働＝ふるさと納税、サンセットコイン、ツッテ西伊豆。
- ・松浦氏…とにかく情熱もすごいけど、実行力、周りを巻き込んでいく力が素晴らしいです！一人一人が松浦さんのように持っている力を出していけたら、すごい力になると思いました。

深澤氏…深く寄り添う、共に！という松崎町の方向性が素晴らしいと思う。

- ・松浦氏…何がしたいかが明確、芯が分かりやすいので、周りに伝わりやすく、行動に変わるスピードとエネルギーが大きいと思う。

深澤氏…親しみやすい人柄が伝わってくる。やはり「人」だと改めて思った。

- ・松浦氏のこれまでの取り組みが能動的でアイデアも素晴らしく、多方面としっかりとしたコミュニケーションを取りながら、周囲を上手に巻き込んでいく求心力に感嘆致しました。とても参考になりました。
 - ・松浦氏…地産と貨幣を連結し、ビジネス化することに感動！
- 深澤氏…上から目線の行政が、共に創る姿に変わる事に期待したい！

松崎町は「最も美しい村」に相応しい場所！発信力すごい！

- ・アイデア一つで大きく変わることがあるのではない？金はないけど知恵を出す、人は少ないけど人との繋がりを深める、5年、10年後先の伊豆半島の姿を官民が共有する。全体的最善思考。
- ・スーパー公務員の松浦城太郎さんの発表は、とても素晴らしい内容であったと思う。自身の経験を踏まえ、大きく成長していく西伊豆町を感じられました。1人では何もできない、プロジェクトチームを作る事により、多く成功体験を共に出来た事が大きな宝であろう。心を動かす事が出来たのでしょう。大変学ぶべき内容に感謝致します。益々頑張ってください！将来の町長です！深澤町長さんは、少し力が入りすぎかな？責任を感じ過ぎていたかな？町長の役割を頑張ってもらいたいと思います。応援しています。
- ・賀茂地区の人の減少の深刻さについて、すぐに取り組む必要があると思った。
- ・松浦さんの取り組み、他の地域の方も参考にしてもらいたいと思いました。やりたくても方法が分からない、そんな気持ちの方がたくさんいると思います。とても良い勉強になり、考え方が素晴らしいなと思いました。こういう人が増える事を願っています。
- ・ツッテ西伊豆、日本で最も美しい村連合。
- ・やる気のある職員・首長によって町や職場が変わるかもという希望が持てた。
- ・深澤町長、頑張れ！
- ・松浦さんの話は、結果も伴っていて具体例も含めて参考になった。下田市役所の職員も何人か来ていたのかもしれないが、是非、素晴らしいことなので真似してほしい。松浦さんの熱意は素晴らしい！
- ・ふるさと納税の使い道。
- ・一つの事を長くやるというより、課題解決に向けて、複数で取り組んでいく事が大切なのかなと思った。動きを見せる事が大事、言ったもん勝ち。
- ・松浦氏…ふるさと納税を官民協働のある程度、完成形と捉えている。

町内に実益を還元する事により、成果の見える化、成功体験により、官と民の距離が近づいたこと。このことにより、プラスの連鎖になり、地域課題解決へと繋げていく。そのことが、また新たなビジネスを生む。

深澤氏…人的、財源のひっ迫、人口減少の負のスパイラルの中で、素晴らしい地域固有の財産があるにも関わらず見放されつつある。地域の宝に気づき、磨き上げ、価値創造をしていくことは、官民協働（共創）のベースを考える。最新のテクノロジーを活用して課題解決に向かう事はビジネスとなる。キーとなるのは官も民も人財育成。いつの時代もリーダーは苦しんでいるのかな？

- ・こんなに一生懸命に働く役所の人がうるといのが驚きでした。
素晴らしいと思います。
- ・地産地消がポイント。地域課題を官民で発見する。成功体験を積む事の大切さ。
- ・似たような町でありながら、ふるさと納税の格差や方針の違いが非常にある事を感じた。
- ・松浦氏…プロジェクトチームの活用、組織の中で自分の考えを実行するためにチームとしてうまく動いている。
- ・深澤氏…誰かがやるのではなく誰もがやる。
- ・松浦さん以外にも、西伊豆職員には同様のプレーヤーがいる様に感じた。
- ・松浦さん、正にスーパー公務員。経営感覚にあふれた企画、行動力、チームをまとめるリーダーシップ、とにかくよく動く、多くの学びがありました。
深澤さんはまだまだ未知数なので、今後に期待したい。
- ・「人が大事」「共創」より多くの人を巻き込み、頑張ってもらいたいと思った。
- ・アイデアを行動に起こす事の必要性。
- ・サンセットコインが印象に残りました。高齢者によく受け入れられたと思う。
- ・松浦さんのプロジェクトチームの大切さ感動しました。
- ・予測できない未来に向けて何ができるか。2人とも未来に目を向けた発信をしていた。

Q3 あなたが「官民協働」のために必要だと思われる事は？

- ・「故郷愛」です。官と民がお互いに、自分の町を守ると創るという思いがなければ、なかなか出来ない事だと思います。
- ・難しい事ですね。地元の人たちがもっともっと強力してほしいと思っています。眠っている人たちを起こして、町を少しでも元気にしたいです。話し合いの場を設けてほしいですね。経験を生かしてほしいです。主婦として感じた思いです。参加させて頂きありがとうございました。参加して良かった～。
- ・首長さんのリーダーシップと国、県の制度を住民の為に使うこと。
官民の壁を取り払うことが大事。
- ・得意分野の融合。
- ・お互いを思いやる気持ち、感謝。
- ・役場の職員がやる事が多すぎ。見通してどんどん無駄はやめて良いと思う。
そういう時代です、していくべきです！
自分の住んでいる町に誇りを持つ！人任せにしない！自分たちで動く！
子供に良さを教える親になるべき。
空いた学校を会社でもあり、避難所として活用。新しく建てなくても良い。

統合し活用！

- ・自分の土地の良さを知って、より良い場所にするために、官民の囲いはずして、協働すること！
- ・松崎町長のお話にもあったように、「誰かがやる」ではなく「誰もがやる」という思いが必要だと感じました。
- ・下田市においては、まだ、官民の接点が少ないと思います。
- ・誰かがやるのではなく、誰もがやる。夢と希望を共創する。
- ・健康寿命を延ばし、元気な高齢者に元気でやりがいを持って働いてもらう。
- ・アイデアを出し合えるワーケーションの場を多数設ける。
官の職員が民の事業者に補助金や交付金の活用方法をもっと教える。
- ・民の協力を得る事により、官の目的が達成される、それが住民の指示協力に繋がると思う。これを基礎にもっと大きな輪が広がっていく事が必要。
- ・共に創る（共創）社会。行政と住民、自治体と民間企業、国や県、自治体間の広域連携。地域産業の振興。起業・創業支援
- ・下田＋賀茂エリアを一体化しての共同事業の実施。
- ・まずは、官、役場職員のレベルアップ。金がない、前例がない、ないないばかりで、住民の意見を聞かない役所にうんざり。
たまたま、新しい企画する時にも、形ばかりのワークショップなどを行うが、行政側の決めた人員で形式的にやっている。
松浦氏のような職員を多く生み出すように！
- ・官民で課題を発掘して、解決方法を官民で議論すること。
地域の発展のために議論をすれば、いいアイデアが出ると思う。
- ・官と民ではお金の動きがまるで違います。お互いに勉強が必要です。
- ・松浦氏の話にあったように、地方創生推進交付金をうまく活用して、民が官に求める事、官が民に出来そうな事をやっていく。スピード感が大切。
まずは、地域課題を官民共に感じ合う。
- ・対話、自治体と住民の考え方の違いを埋めていかないと。
共通の課題認識を持つ。
- ・課題を発見するためのコミュニケーションと課題の共有。
- ・松浦様のような自治体職員がたくさんいる事。自ら行動できる職員がいる事。
- ・地域の活性化のために何をしていくのか考え、行動し、地元企業、住民と必要な事は何かを考えていく事が大事だと思います。例え失敗したとしても、次への成功があると思います。
- ・地域住民の理解、また地域住民の知識向上。（勉強してほしい）
諸外国や未来を見据えた「時代に合った考え方」を持つ必要がある。
そもそも「官民協働」という言葉を知らず、役人が役場の外で働く事に反対す

る者もいる。「現状維持」は現代では最低の悪手である。

- ・このような会に行政から多くの方が参加して、新しい方向性を考えて下さる事が必要。町のブランディングを広告（企画）会社などの力を借りて見る事。
- ・信頼される自治体職員になること。
- ・考える事、課題、解決策を官民で共有する。熱量の差を無くすために、それぞれが得になるように話していかななくては、持続するのは難しいと思います。（地域活動にボランティアポイントを付与し、高校生の就職に有利になるなど）
- ・民の情報収集、お互いの事を知る。
- ・みんなで、学ぶ、動く、創造する。
- ・対話の場作り、形式にとらわれない自由な発想と未来を担う若者が活躍できる環境。役人が反民間的な立場になっていく。
- ・地域への愛情を持つこと、歴史を知ること、かけがえのない自然を守ること。
- ・熱の気持ちを持った人々の結集、組織の壁を超えた協働態勢、若い人に自由に活動できる場づくり。
- ・市民の中に埋もれている知恵と力を発掘して、共に未来を作っていくという思考が必要ではないでしょうか。
- ・私は高齢者ですが、官から民への積極的な働きかけが必要ではないですか。
- ・官民の交流機会の創出、相互理解の深化。
 - 課題解決に対する「目的」「方向性」の一致。
 - 推進する実行力。（官民共に）
- ・町の情報を常にアンテナを高くしキャッチして、参加していく事。
 - そうする事により健康寿命も伸び、楽しい人生にしていけるのではないか。
- ・町民一人一人が地域の課題をしっかりと自分事として捉え、行動する。
 - 官もルーティン業務だけが仕事と考えず、一町民として一緒に行動する。
 - 開けた行政になってほしい。
- ・私は高齢ですが、若い人たちの応援をしていますし、これからも民の応援が大切だと思います。
- ・協働できる場の仕組み作りが大事。
- ・WIN・WINの関係性
- ・課題を見つける力とスピード。
- ・対話の場を設けること。マッチング。
- ・官側から民への働きかけ、究極の透明性（ラディカルトランペアレンシー）、たくさんの方が「提言」を書かれている事に感動しました。このような志ある方を繋げ、活かせる方策を実施する事かと思います。
- ・事務的対応ではなく、お互いに気持ちのふれあいが大事。
- ・住民との対話と意識の共有。

- ・町民人々のアイデア。
- ・思いの見える化。
- ・官の知恵と民の現場力の組み合わせ。
- ・民は一人一人がもっと思いを声にしていくべきだと思いました。
「何ができるか」「何がしたいか」をもっともっとコミュニケーションを取りながら話し合いをしていきたい→チーム作りを！
- ・官側の民が参加しやすい仕組み、ルール作り。
- ・地域課題を一部だけでなく、共有すること。
- ・人とのつながり、新しい事へのチャレンジ、時代の流れに乗り遅れないこと。
- ・松浦さんのように官サイドから上手なアプローチがあれば、協議していく事がスムーズではないかと思いますが、民サイドから声を上げて、何かしら取り組んでいく事が出来るような行動とアイデアが目下の課題と感じました。
- ・互いを思いやり、郷土を愛すること。
- ・市町単独ではなく、伊豆半島全体で考えなければ。
- ・地域課題を官と民で一緒に見つける事が大事。官と民とで、出来る事をはっきりさせて、共に力を合わせるといこと。住民の声をたくさん聞く、住民が言える場、機会をたくさん作るのが必要だと思う。今回、「私が考える官民協働への提言」の資料を頂き、こんなにもよく考えて意見を出してくれる人たちがいるという事に驚いた。
- ・官民がお互いに分かり合えるようになること。その場造りだと思います。
あえてその場を造ること。1人ではないチーム力、楽しくやる！こと。
- ・言い方は悪いが、官が民を上手に使う事だと思います。
- ・行政、役場の柔軟さ。
- ・リーダーの決断と理解。
- ・情報の共有、課題の共有、方向性の共有、実施方法の共有。
- ・民間の意見が市役所職員に伝えても、そこで終わってしまわぬように、今こそコミュニケーションをとり、そして市や町も同じように連携してほしい。
意識を、民間企業と同じように、自治体も稼ぐ思いが大切。
- ・企画者のみ（1代限り）にならないよう、長く継続させる事が大事。
- ・官も民も汗をかくことを嫌っては何も変わらない。
ニーズとシーズを検証して、ベクトルの食い違いを生まないこと。
チャレンジをしない事は最大の失敗～官も民も寛容さがほしい。
- ・人口減少がもっともっと進んで、人々がもっともっとまとまる事が必要。
- ・官は官、民は民のフィールドで相互に連携し、行動する。
- ・自治体職員のスキルアップ。若手の時はやる気もあるが、年々組織の中でルーチンワークに埋もれてくる。立ち上げはボランティアでもやむを得ない

がビジネスにならないと続かないと思う。

- ・官民それぞれが、出来る事、出来ない事の理解。何かをしたいと思っている人をうまく繋げること。
- ・お互いの立場を超えた意見交換や思いやり、お互いの考えを尊重する柔軟な考え方、情熱とバカになれる想い。
- ・傾聴。一緒に「稼ぐ」という意識。
- ・お互いの目線での尊重。
- ・忍耐と諦め→移住者に期待する。
- ・目指すビジョンの共有、目標共有するまでの対話。

Q 4 今後の元気塾に取り上げてもらいたいテーマなどありますか？

- ・毎回楽しんでいます。
自分はこの賀茂郡に生活、働く外国人で、もっと外国人が来た方が、活気が増えると思い、外国人でも生活しやすい…といったテーマがほしい。
- ・後継者の確保と新事業の創出について。
- ・実際に若い人たちが取り組んでいる事業。森林活用法、海活用法…成功者の話を聞き、真似していく。
- ・「観光都市」という下田を、もっと良くしたいと思う。
- ・ワーケーションについて、施設の作り方や使い方など。
- ・貴重な企画をありがとうございました。
- ・アントドア関係事業者の生の声をもっと聞きたい。埋もれた自然をもっと取り上げるために。
- ・M & Aについて、メリット、デメリット等。
- ・地域ネットワークの拡大。
- ・民間の目立たない取り組み、地道に努力している人やグループの紹介。
(実績は上がってなくても)
- ・移住した人を講師にした講演会、人口減少対策。
- ・熱海—伊豆大島、下田—神津島、式根島、新島、利島、毎日船で繋がっています。伊豆半島と伊豆諸島、連携しましょう。
- ・住みやすい下田になるには？司会の石垣氏が言っていたように、ふるさと納税を松浦氏に学んだ方が良い。分からなければ学べ。
- ・地方が取り組むべきカーボンニュートラルに向けた施策。賀茂地区1市5町のこれからについて、合併が必要ではないか、1つの市、6区で良いのでは。
- ・地域の活性化による成功事例など（個人事業主など）。
SDGsに向けた取り組み活動。

- ・田舎の教育について。
- ・人口増加を目指し、住みやすく働きやすい地域づくりを成功させている町の例
- ・スノーピーク（アウトドアの会社）のような会社が、地方に本社を構えたりしているの、そういう例で地域が活性化した例。
- ・地域づくり、賀茂郡のあり方。
- ・再生可能エネルギー。
- ・立地の悪い場所でも事業や商売を成功している…ネット発信をどのように。
- ・引き続き、リーダーの役割や人づくりに努力している人の話を伺いたい。
- ・自由な働き方のカタチやモデルケース。若い人が地元を感じる「働く場所がない」→地方での仕事の作り方やビジネスチャンス。
- ・循環型社会をどう作りあげるか。
- ・今日は本当にお話をお聞きして良かったです。

今、下田市は伊豆縦貫道の敷根インターのど真ん中に、ゴミ焼却場を作ろうとしています。少子化で下田唯一の中学校となる統合中学、認定こども園、市民運動場などと、ゴミ焼却の煙突の先が同じレベルとなります。

このような文教地区、観光立地に最適の地に、ゴミ焼却場を作ってもいいのでしょうか？西伊豆町、松崎町、南伊豆町の方々は、下田にゴミを持ち込むのではなく、「知恵と力」を持ち込んで、賀茂郡全体の「ウェルビーイング」の為に力を尽くして頂きたいと思います。

- ・高齢者がやる気を起こすような話を聞きたいと思います。
- ・ウィズコロナ（アフターコロナ）のなか、伊豆を元気にするために、どうしていくべきか？
- ・素晴らしいです。これからも頑張ってください。
- ・観光
- ・教育について
- ・役場のあり方について。森林の保全と活用について。
- ・毎年、元気塾を聞くのを楽しみにしていますので、来年も期待しています。
- ・官民協働について、改めて取り上げてもらいたい。
- ・ウェルビーイング→みんなで考えていきたいです。
- ・観光産業の伊豆全体の統一した取り組みについて。
- ・稼ぐ町づくり！
- ・伊豆半島南部をみんなで元気にしていくには…合併しなくても、それぞれの市町の特徴を生かしていきたいと思います。元気塾が19回目という事ですが、今まで知らなかったです。もっとPRしては…。
- ・あいかわらず、石垣さんのファシリテーションが素晴らしかったです。
- ・男女共働く、女性の活躍の場。

- ・伊豆縦貫道の進捗状況と問題等。
- ・各自治体や民間団体、企業による地方創生の成功例を聞きたい。
- ・アフターコロナで、これからの下田、伊豆地区に必要な観光業について。
- ・社会事業の成功例（ソーシャルビジネス）
- ・地域の課題解決を前提とした、E S G投資の発想。
- ・起業をテーマ。
- ・地域おこし協力隊の活用。
- ・モチベーションの上げ方。元気な社長や社員の会社の話を聞きたいです。
- ・色々な新しいビジネスについて知りたい&携わる人を知りたいです。（地方で
- ・人づくりについて、どんな育成をしていくのか。